

# 第 I 部 SGH 事業の 概要

1. 本校の SGH 構想
2. シナリオ・プランニング (SP) への道
3. 事業展開
4. 運営指導委員と連携先

## 1. 本校 SGH 事業について

### ①本校 SGH 構想の概要

- 「未来を読み解く力」と「世界に発信する力」を身につけるための教育システムの開発を目的とする。
- 生徒による「シナリオ・プランニング (SP)」を用いた未来予測を研究開発のテーマとし、学習教材としての体系化を図る。また、その研究成果を効果的に発表するための力、情報処理の力を身につける。
- 「シナリオ・プランニング (SP)」とは、ロイヤル・ダッチ・シェル社が用いた未来予測の手法で、複数の「起こりうる未来のシナリオ」を論理的に創り上げ、多様な未来の可能性を考えることで、より望ましい未来への道筋を模索しようという方法論である。
- そのためには、教科教育の枠を超えた知識や分析力が必要となるので、Political, Economic, Societal, Technological の 4 つのゼミ (PEST ゼミ) を開講して専門的な知識や考え方を習得する。
- 国内外のフィールドワークを積極的に行い、国内外の高校・大学・企業・地方公共団体等と協働してシナリオ・プランニング (SP) を行うとともに、教材の普及とネットワークの構築を図る。



SGH ロゴ (生徒公募作品)

### ②「シナリオ・プランニング (SP)」について

「地球規模の視野を持って世界のあり得べき未来図を描き、社会をより良い方向に導いていく人材」と定義したグローバル・リーダー育成をめざし、ビジネス手法「シナリオ・プランニング (SP)」を学習教材として体系化する。

テーマとしては、「SP を用いて未来のエネギー事情を考える」とし、年に 2 回中間発表会を行い、高校 3 年次には市のホールを使用して研究発表を行う予定である。

各学年では、週 2 時間の総合的な学習の時間を用いて以下のような内容を実施する。

高校 1 年次：『PEST ゼミ (基礎)』『GE』『PIT』

高校 2 年次：『SP』『PEST ゼミ』『GE』

高校 3 年次：『SP』『GE』

注 『PEST ゼミ』：SP に必要な経済・政治・社会・科学技術等各分野の知識・分析力開発の講座

『GE』：グローバル・イングリッシュ講座

『PIT』：情報処理能力向上の授業

なお、外部の専門機関 (大学、企業、地方公共団体等) や高校と連携し、協働して SP の演習を行うとともに、国内外のフィールドワークも積極的に行う。

## 2. シナリオ・プランニング（SP）への道

PEST ゼミ・講演会・特別授業・GE・フィールドワーク・その他

1. 本校の課題研究テーマは「SP を用いて未来のエネルギー事情を考える」であり、研究開発の主軸はシナリオ・プランニング（「SP」）である。SP を行うことで、論理性・課題発見能力を高め、主体的に活躍できる人材を育成することを目指している。しかし、本来 SP は高度なビジネス手法であり、その手順は高校生には難解である。また SP を行うために必要な、未来に影響する因子を列挙するという作業のためには、広い視野と多角的な思考法を身につけねばならない。

2. 一年次は、次年度以降の SP 演習に耐えうるだけの生徒の素養を養うことを主たる目標として研究開発活動を行う。具体的には、課題研究の中核として「PEST ゼミ」の基礎講座を実施する。また、総合的な学習の時間内における「Global English (GE)」「Practical Information Technology (PIT)」や、国語科・英語科・情報科の教科学習においても、生徒の探究学習の素養を向上させるための取り組みを実施する。

また、学校・教員の取組としては、次年度以降の SP を円滑に行うために、教員研修等を行って、教材化を進めるとともに、新規連携先を開拓する。

3. 一年次のそれぞれの取り組みは、次のようなものである。

### 【PEST ゼミ】

Political、Economic、Societal、Technological のそれぞれのゼミを各 7～8 回ずつ実施し、生徒はそれぞれの考え方の基礎を学ぶとともに、次年度以降のゼミ専攻の参考とする。なお、それぞれのゼミにおいて専門家を招き、講義や演習の指導を受ける。

### 【GE】

通常の英語の授業と連携を取りながら、姉妹校との Skype 授業や、英語によるディスカッションやプレゼンテーション等を計 7～8 回行う。なお、20 名弱のクラスに対し、ネイティブを交えた教員 2 名によるチームティーチングで行う。

### 【PIT】

通常の情報の授業と連携を取りながら、より実践的なデータ処理に主体的に取り組む活動を、計 5 回を行い、情報処理技能を向上させる。

### 【海外フィールドワークの実施】

長期休暇を利用して、希望者を対象に、マレーシア・シンガポール、フィリピンへの研修旅行を行い、現地の大学・高校と協働して探究活動を行う。

### 【国内フィールドワークの実施】

長期休暇等を利用して、希望者を対象に、関東・関西方面への研修旅行を行い、企業・大学・高校等と協働して探究活動を行う。

### 【トビタテ！留学 JAPAN】

文部科学省の『トビタテ！留学 JAPAN』プログラムに積極的に参加するよう指導を行う。

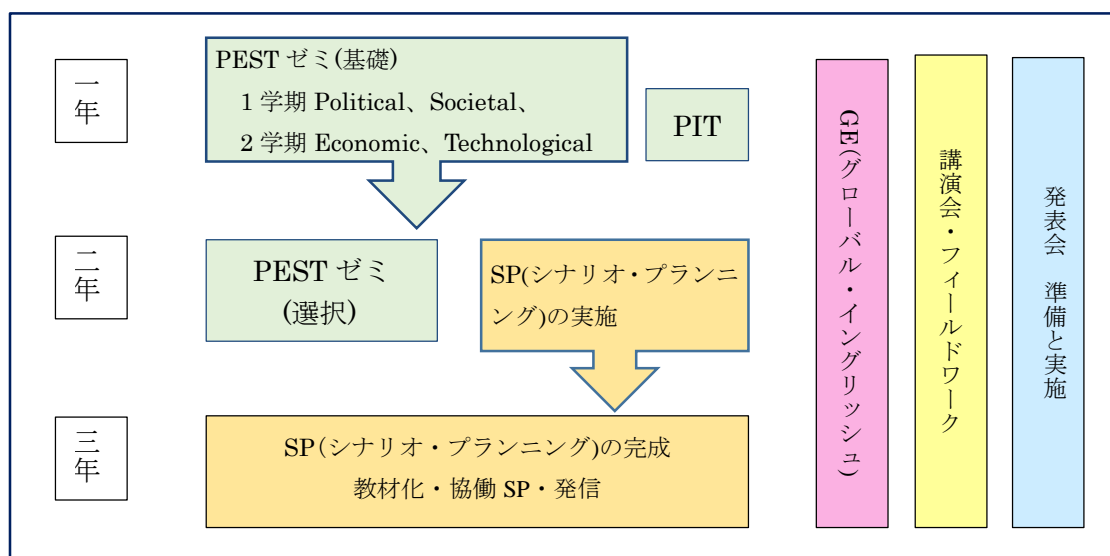
## 4. 事業展開

### ①来年度の予定

- 1 年次生 今年度の活動を踏襲
- 2 年次生 『SP』: シナリオ・プランニングの取り組みを開始  
『PEST ゼミ』: 4 分野から生徒が 1 分野を選択して実施  
『GE』: 2 年目の取り組み  
『研修旅行』: タイ研修旅行 (修学旅行に相当)  
『フィールドワーク』: 国内外での活動を予定 (連携先数の増加)

### ②今後の予定

- 1・2 年次生 今年度・来年度の活動を踏襲
- 3 年次生 『PEST ゼミ』『GE』『PIT』『フィールドワーク』などの取り組みを統合し、「生徒によるシナリ・オプランニング (SP) を用いた未来予測」を実施し、論文作成を行うとともに、学習教材としての体系化と普及・ネットワークの構築を図る。なお、外部のホールを使用して、研究発表会を開催する。



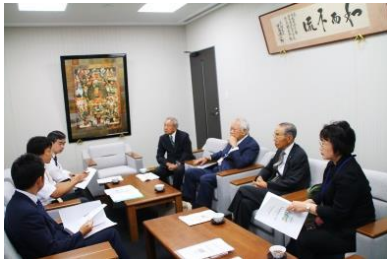
### ③今後の事業展開

1. シナリオ・プランニング (SP)  
SP 実施、教材化と普及  
国内外の提携先大学・高校・研究所・企業・地方公共団体等の開拓と連携・協業
2. 「SGH 国際シンポジウム」構想  
春期フィールドワーク訪問先の高校生や大学生、近隣の SGH 校・アソシエイト校を招待し、国際シンポジウムを開催する予定。

## 5. 運営指導委員と連携先

### ①運営指導委員一覧（敬称略）

小谷 泰造	株式会社インターグループ取締役会長
佐野 慶子	高石市教育委員会委員長
中村 松市	株式会社パイン キャピタル（シンガポール）グループ代表
横山 直樹	富士通研究所フェロー



### ②連携先一覧

京都大学・大阪大学・筑波大学・関西学院大学・立命館大学
昭和シェル石油株式会社
大阪府高石市・滋賀県琵琶湖環境部
産業技術総合研究所（AIST）・宇宙航空研究開発機構（JAXA）
Brisbane Grammar School (Australia)
Universiti Teknologi Malaysia (Malaysia)
Colegio de San Juan de Letran (the Philippines)
St. Joseph's Institution (Singapore)